

Weekly コラム

平成 29 年 3 月 27 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

水に変わっちゃう？

いよいよ本格的な花粉シーズンの到来です。今年の花粉の飛散量ですが、多い地域では去年の 4 倍になるという悲惨な数字が発表されています。昨年猛暑だった西日本は、雄花の成長が活発になって多く育ったため、特に京阪神などでは 4 年ぶりの大量飛散になる恐れがあるとされています。最近では、花粉症の発症時期の低年齢化が進み、大人だけでなく子供の間でも広がっています。1 度発症するとなかなか治らず、放置すると悪化していきます。防御策として、マスクや眼鏡をかけるのが一般的な方法ではありますが、今までと全く違った発想のマスクが新発売されたのはご存知でしょうか。

その名も、「花粉を水に変えるマスク」です。感染症やアレルギー疾患治療薬開発を専門とする創薬会社、DR.C 医薬が、花粉・細菌・ウイルス・ダニ抗原といったタンパク質を分解し水と二酸化炭素に変える「ハイドロ銀チタン」という新技術を開発しました。この技術を利用したのが「花粉を水に変えるマスク」です。水に変える？ ということ？ と思われた方も多いのではないのでしょうか。このマスクは 4 層構造になっていて、不織布・高密度フィルター・ハイドロ銀チタンフィルター・不織布の順番に重なっています。マスクに付着した花粉を 2、3 時間かけて水に分解し、吸い込む花粉の量を減らすという仕組みです。付け心地は市販の他のマスクと変わりなく、呼吸もしやすいそうです。3 月 1 日より全国の小売店等で販売開始されたところで、5 枚入り 648 円です。

また、このハイドロ銀チタンを使用したタオルも先行して販売されています。価格は通常のタオルの 2 倍近くしますが、外に干して花粉が付いても水に分解されるので花粉が残らず、帰宅時に服についた花粉を拭き取ることや、枕に巻けば花粉やダニの死骸を水に変えてくれます。同社の実験結果で洗濯を 50 回以上しても効果は持続すると証明されています。

さらに、スポーツ用品のミズノや紳士服のはるやま等の、企業もこのハイドロ銀チタンに注目しています。花粉以外に、人間の汗や皮脂などのタンパク質も分解するため、消臭効果もあります。この技術を様々なところに応用することで、身の回りの清潔を保つ事ができますし、アレルギーの発症を遅らせる事や病気を未然に防ぐこともできるかもしれません。

筆者は花粉症で、このマスクを購入するためドラッグストアを 3 店舗周りしましたが見つけれませんでした。直接 DR.C 医薬に問い合わせしてみると、マスクは全国のタオル美術館の店舗か、オンライン通販で販売しているとのことでした。近々、タオル美術館に足を運んでみようと思います。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。